

薩摩硫黄島の火山活動解説資料（平成 20 年 8 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

噴煙活動はやや活発で、地震回数はやや多い状態が続いています。
硫黄岳火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。
その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 8 月の活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図 2）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しました。

噴煙は白色で、高さは概ね 400m で経過しました。

・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

地震活動はやや活発な状態で経過しました。

火山性地震の月回数は 107 回（7 月：167 回）とやや多い状態が続いています。

火山性微動は観測されませんでした（7 月：なし）。

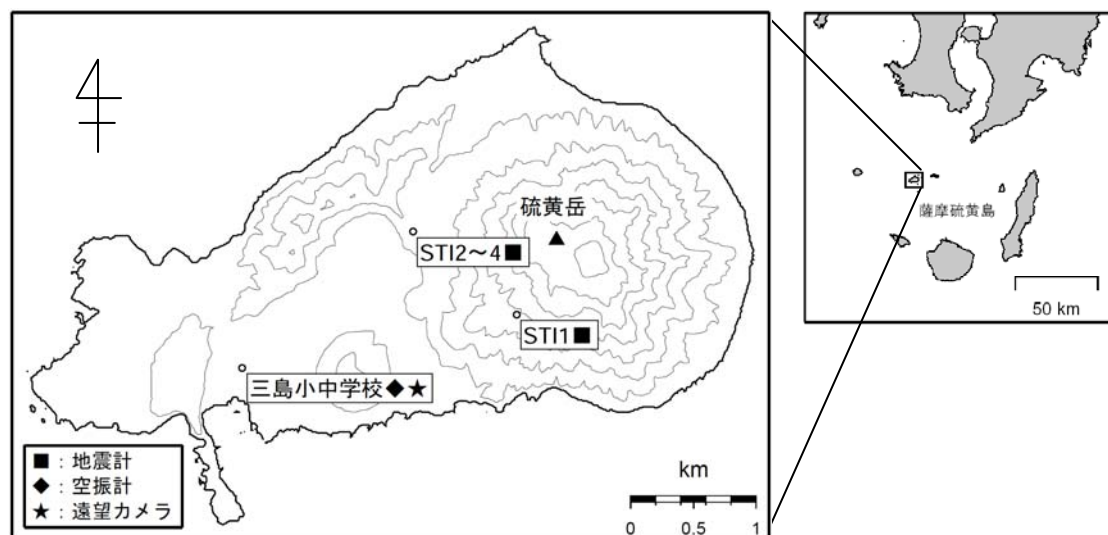


図 1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 10m メッシュ (火山標高)』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 9 月分)は平成 20 年 10 月 7 日に発表予定です。

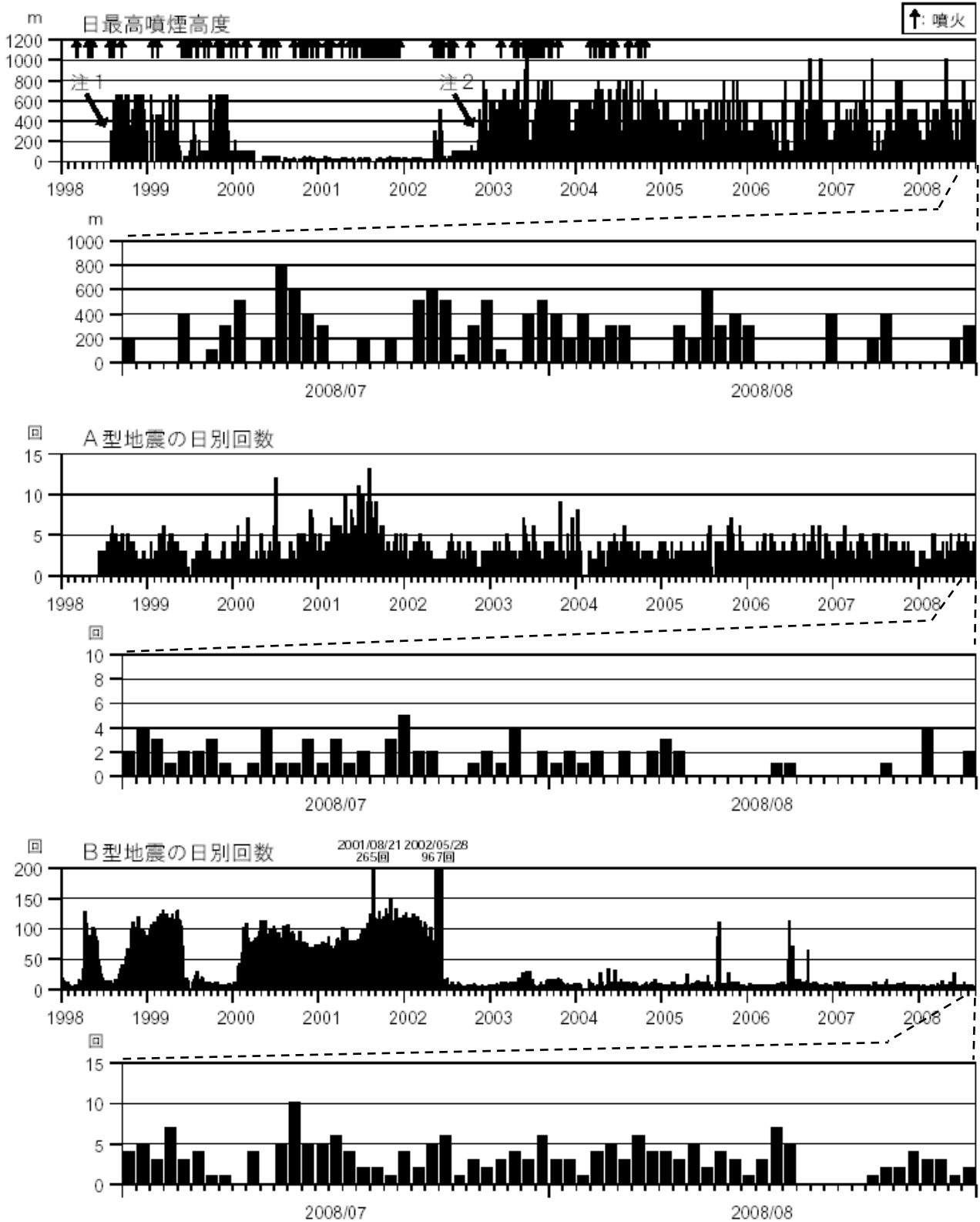


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1998年1月～2008年8月)

- ・噴煙は白色で、高さは概ね400mで推移しました。
- ・A型地震は23回(2008年7月：56回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・B型地震は84回(2008年7月：111回)で、大きな変化はありませんでした。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

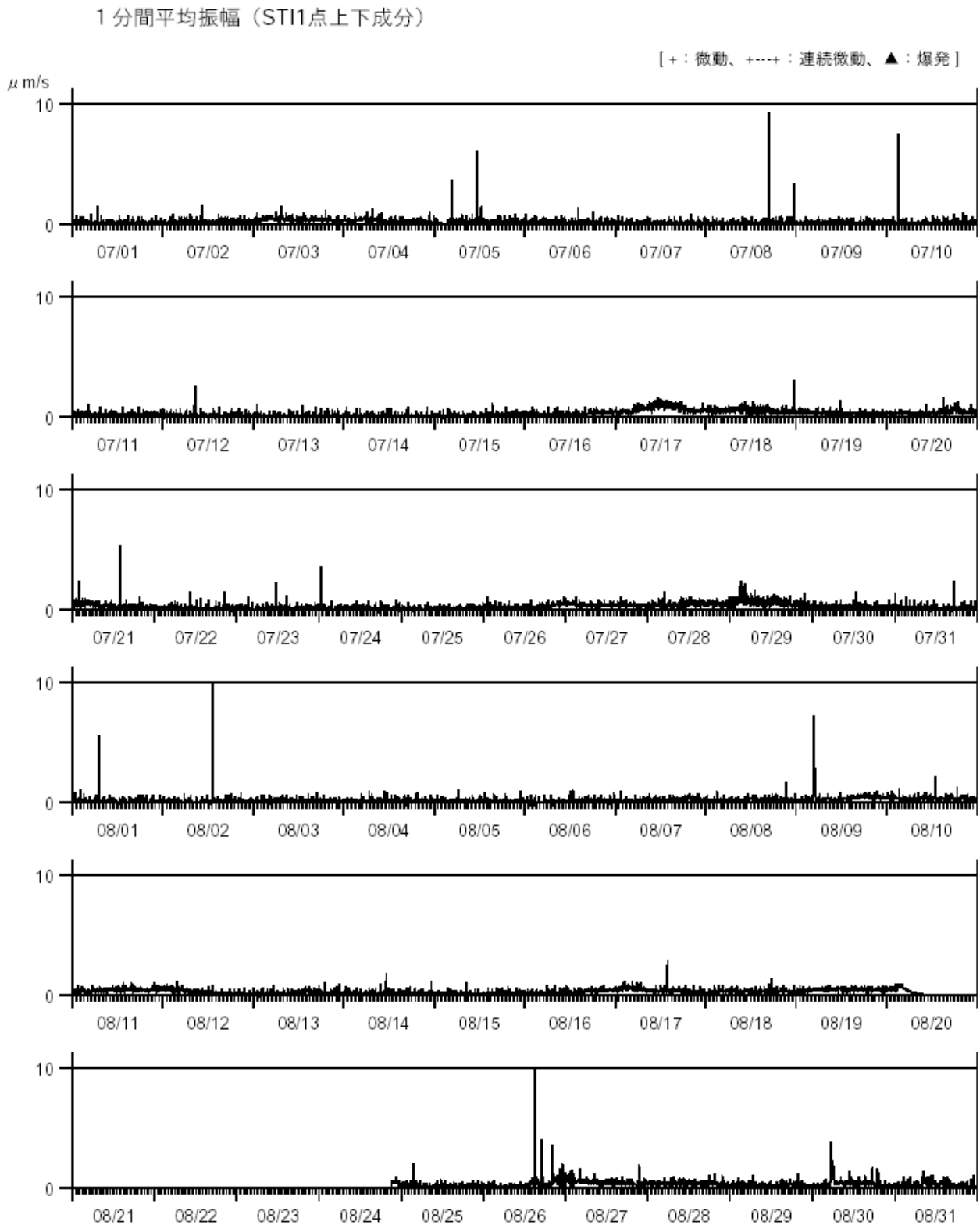


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化（STI1上下成分）（7月～8月）

・継続時間の短い火山性微動は観測されませんでした（7月：なし）。